

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人 桜丘学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ファッション専門課程	ファッションクリエイティブ科(2年制)	夜・通信	2,070 時間	160 時間	
	ファッションビジネス科ファッションビジネスコース(2年制)	夜・通信	1,980 時間	160 時間	
	技術科ファッション専攻	夜・通信	1,050 時間	80 時間	
デジタル専門課程	国際情報ビジネス科(2年制)	夜・通信	1,260 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.f-sakura.ac.jp/information/schedules/syllabus/curriculum-index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人 桜丘学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している

https://www.f-sakura.ac.jp/common/pdf/information/board_member2020.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元大学総務担当理事	令和2年7月30日～令和5年7月29日	学校運営
非常勤	会社経営者	令和2年7月30日～令和5年7月29日	経営管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人 桜丘学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・ファッションクリエイト科(2年制)・ファッションビジネス科ファッションビジネスコース(2年制)・ファッションビジネス科国際・流通・ITビジネスコース(2年制)・技術科ファッション専攻(1年制)・国際情報ビジネス科(2年制) 【授業計画(シラバス)の作成】 各授業科目について、学内の会議(教員会議)により授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し公表している。 授業計画ガイドラインにおいて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項等は必須となっており共通の様式でシラバスの作成を行っている。 【授業計画(シラバス)の公表時期について】 翌年度の授業計画を1月～2月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることにより正式決定する。3月中旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。	
授業計画書の公表方法	
https://www.f-sakura.ac.jp/information/schedules/syllabus/syllabus-index.html	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は履修を認定している 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。	

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■進級・卒業評価判定基準規定

第1条 進級、卒業を決定するための評価判定基準はこの規定による。

第2条 卒業の判定評価基準はⅠ表の通りとする。

Ⅰ表	不良科目数	認定	認定条件
①	1科目	卒業	厳重にいましめて卒業させる A科目を含まない
②	3科目	年度末卒業	年度末まで補充授業等に参加させ、課題を与え、製作物、レポートなど提出の後 卒業を認定 A科目を含まない
③	4科目	卒業不可	

第3条 進級の判定評価基準はⅡ表の通りとする。

Ⅰ表	不良科目数	認定	認定条件
①	1科目	進級	厳重にいましめて進級させる A科目を含まない
②	3科目	条件付進級	年度末まで補充授業等に参加させ、課題を与え、製作物、レポートなど提出の後 進級を認定
③	4科目	留年	全科目の認定を取り消し、再度同学年を履修させる

※③の場合前期終了時で判定を行った結果、進級を認めがたい場合は進路の変更を含む指導を行い、従わない場合は放校処分とする。

※出席率は、全学科時数3分の2以上（遅刻・早退3回で1日欠席とする）

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.f-sakura.ac.jp/common/pdf/information/graduation_certification.pdf
----------------------	---

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	専門学校 ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人 桜丘学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/taisyaku-index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/syuushi-index.html
財産目録	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/zaisan-index.html
事業報告書	https://www.f-sakura.ac.jp/information/report/
監事による監査報告（書）	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/kansa-index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政関係		ファッション専門課程	ファッションクリエイト科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	2,220 単位時間／単位	750 時間	0 時間	360 時間	0 時間	1,110 時間	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
40人		33人	0人	6人	7人		13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	5人 (38.5%)	0人 (%)	8人 (61.5%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導。個別相談による就職支援。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング検定・パーソナルカラー検定・洋裁技術検定・フォーマルスペシャリスト検定・ファッション販売能力検定・准教員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	5 人	14.3%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由・帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期面談により学生の気質、生活環境等を把握し、安定した学生生活をサポートする。 メンタル的に弱い学生が増加傾向にあるため、個別面談を積み重ね、細やかなケアで 学生の不安を解消する。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政関係		ファッション専門課程	ファッションビジネス科ファッションビジネスコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 220 単位時間／単位	1, 125 時間	0 時間	705 時間	0 時間	390 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		21 人	0 人	6 人	10 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0 %)	4 人 (66.7%)	2 人 (33.3%)
（主な就職、業界等） オーセンテック、アイジーエー、アルページュ、楽天スーパーロジスティクス			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導。個別相談による就職支援。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション販売能力検定・ファッションビジネス能力検定・フォーマルスペシャリスト検定・准教員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期面談により学生の気質、生活環境等を把握し、安定した学生生活をサポートする。 メンタル的に弱い学生が増加傾向にあるため、個別面談を積み重ね、細やかなケアで 学生の不安を解消する。		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政関係		ファッション専門課程	技術科ファッション専攻					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1, 1 1 0 単位時間/単位		300 時間	0 時間	300 時間	0 時間	510 時間
				単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
10 人		5 人	0 人	6 人		6 人		12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） NPW横浜			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導。個別相談による就職支援。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング検定・パーソナルカラー検定・洋裁技術検定・フォーマルスペシャリスト検定・ファッション販売能力検定・准教員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	1 人	50.0%
(中途退学の主な理由) 病気療養のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期面談の実施により、学生の情報を収集し早期に問題の解決を図る。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		デジタル専門課程	国際情報ビジネス科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間／単位	710 時間	0 時間	750 時間	0 時間	240 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80		23 人	23 人	3 人	12 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導。個別相談による就職支援。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備 考 (任意記載事項)
ファッションクリエイト科 (2 年制)	140,000 円	560,000 円	500,000 円	
ファッションビジネス科 ファッションビジネスコース (2 年制)	140,000 円	560,000 円	500,000 円	
技術科ファッション専攻 (1 年制)	140,000 円	560,000 円	380,000 円	内部進学者は入学金 免除
国際情報ビジネス科 (2 年制)	100,000 円	430,000 円	260,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.f-sakura.ac.jp/information/self-evaluation/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行う。 評価内容は理事会、学校運営委員会等において報告検討される。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
民間企業役員	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	関係企業委員
民間団体理事	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	卒業生
民間企業元役員	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	関係企業委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://www.f-sakura.ac.jp/information/evaluation/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.f-sakura.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人 桜丘学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	0人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0 人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。